

2. 整備事業  
(産地競争力の強化を目的とする取組用)

(山形県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)	目標値(平成22年)					達成率	計画時(平成19年)	1年後(平成20年)	2年後(平成21年)	3年後(平成22年)				目標値(平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
							10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)					10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)				10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)					10a当りの燃油使用量(ℓ)	10a当りの燃油使用量(ℓ)
山形市	山形農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(なす) 野菜(トマト) 野菜(食用菊) 野菜(きゅうり)	生産性向上	施設園芸(なす、トマト、食用菊、きゅうり)栽培における燃油の使用量の10%削減(ℓ/10a)	6,000	5,949	5,476	5,395	5,400	100.8%	施設園芸(なす、トマト、食用菊、きゅうり)栽培における燃油の使用量を10%以上削減	野菜(なす) 野菜(トマト) 野菜(食用菊) 野菜(きゅうり)	需要に応じた生産量の確保	施設園芸(なす、トマト、食用菊、きゅうり)における供給量の減少割合を20%以内に抑制(ℓ/10a)	5.00	8.00	12.90	16.50	4.00	100.0%	施設園芸(なす、トマト、食用菊、きゅうり)栽培における供給量の減少割合を20%以内に抑制。更に、なす、食用菊、きゅうりについては供給量を増加	9,303,000	4,430,000	0	0	4,873,000	H21.3.30	栽培講習会、施設巡回を通して各受益者の施設内の温度管理及び暖房機等の調整・点検を徹底することにより、燃油使用量が削減された。また、収量減少の抑制に伴い供給量の減少も抑制され、いずれの目標も達成することができた。	燃油使用量が低減されるとともに、供給量の減少を目標値内に抑えることができ、事業効果が認められる。		
山辺町	農事組合法人山辺アグリF	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(飼料用米・水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:水稲直播機)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を32%以上低減	10a当りの燃油使用量(ℓ) 1.42	-	10a当りの燃油使用量(ℓ) 1.05	10a当りの燃油使用量(ℓ) 0.96	10a当りの燃油使用量(ℓ) 0.96	100.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を32.4%削減	土地利用型作物(飼料用米・水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:水稲直播機)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間 5.20時間	-	10a当りの労働時間 1.11時間	10a当りの労働時間 0.82時間	10a当りの労働時間 3.28時間	200.8%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を84.2%削減	3,150,000	1,500,000			1,650,000	H21.3.24	目標の数値を達成できコスト低減には一定の効果があった。	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業実施効果があったと認められる。		
寒河江市	栄橋ミニライズセンター利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥機)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を22%以上低減	1t当たりの燃油使用量 23.82ℓ	-	1t当たりの燃油使用量 16.99ℓ	1t当たりの燃油使用量 17.12ℓ	1t当たりの燃油使用量 18.53ℓ	126.7%	燃料使用量が計画時と比較し28.1%低減した。										9,135,000	4,350,000			4,785,000	H21.3.27	導入した遠赤外線乾燥機により燃油コストの低減化が実現した。	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業効果があったと認められる。			
河北町	谷地大豆生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%以上低減	36.1ℓ/t	36.1ℓ/t	30.1ℓ/t	26.8ℓ/t	27.4ℓ/t	106.9%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を25.8%低減した。										2,037,000	970,000			1,067,000	H21.3.31	穀物遠赤外線乾燥機の導入により燃油の削減が図られた	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業実施効果があったと認められる。			
大江町	本郷東部稲乾燥調整施設利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上低減	31.8ℓ/t	実績なし	27.8ℓ/t	25.0ℓ/t	25.2ℓ/t	103.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を21.4%低減										4,746,000	2,373,000			2,373,000	H21.3.18	高性能乾燥機の導入により、目標年度には、乾燥調整作業について21.4%の燃油の低減が図られた。	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業効果があったと認められる。			
大江町	本郷南部生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上低減	24.4ℓ/t	実績なし	20.1ℓ/t	16.2ℓ/t	19.3ℓ/t	160.8%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を33.6%低減										4,284,000	2,040,000			2,244,000	H21.3.18	高性能乾燥機の導入により、目標年度には、乾燥調整作業における燃油の使用量(ℓ/10a)について16.2ℓ/10a、33.6%の低減が図られた。	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業効果があったと認められる。			
尾花沢市	上原田営農組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・そば)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を21%低減	水稲 5.37% そば 3.56% 合計 4.07%	水稲 5.37% そば 3.56% 合計 4.07%	水稲 3.65% そば 1.70% 合計 2.17%	水稲 3.63% そば 1.75% 合計 1.89%	水稲 3.83% そば 2.94% 合計 3.19%	247.7%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を53.6%低減	土地利用型作物(水稲・そば)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を0%に抑制	17分/10a	17分/10a	19.5分/10a	14.4分/10a	17分/10a	252.9%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を15.3%低減	12,759,600	4,050,000	4,050,000	0	4,659,600	H21.3.23	当該コンバインを購入することにより、面積当たりの使用燃料量を削減することができた。来年度からはそばの倒伏を抑えることによりコンバインの効率を上げ、燃料使用量の更なる削減を図りたい。	目標以上に燃料の使用量が低減されており、事業効果があったと認められる。		
新庄市	三志ファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該機械の利用に係る燃油の使用量を25%削減	0.768ℓ/10a	稼働なし	0.771ℓ/10a	0.694ℓ/10a	0.576ℓ/10a	38.5%	当該機械の利用に係る燃油の使用量を9.6%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該省エネ機械を導入することによる労働時間の増加割合を10%以下に抑制	2.4h/10a	稼働なし	2.2h/10a	2h/10a	2.15h/10a	130.6%	当該省エネ機械を導入することにより、労働時間を16.7%低減	3,418,800	1,139,000			2,279,800	H21.3.24	ほ場がぬかるんでいて必要以上にアクセルを踏まなければならなかったことや運転者が自ら苗補給を行ったために田植機の停止時間が長くなったこと等から、燃油の使用量を目標まで削減できなかった。今後は、苗補給を効率的に行うこと、田植前のほ場作業(適切な耕起深の確保、農業機械でのターン時に枕地が深くないよう留意等)や研修会の開催による燃料削減ハンドリング技術を徹底する。	労働時間は減少しているが、燃油使用量の低減が小さいため、無駄なアクセル踏み込みを止め、効率的な作業に努める必要がある。		
新庄市	三志ファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲、ソバ、大豆)	生産性向上	当該機械の利用に係る燃油の使用量を20%削減	19ℓ/t	稼働なし	16.7ℓ/t	15ℓ/t	15.2ℓ/t	105.3%	当該機械の利用に係る燃油の使用量を21.1%削減	土地利用型作物(水稲、ソバ、大豆)	生産性向上	当該農業機械の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	1.45h/10a	稼働なし	1.45h/10a	1.45h/10a	1.45h/10a	100.0%	当該農業機械の利用に係る労働時間を0%低減	2,441,250	1,220,000			1,221,250	H21.3.24	高性能乾燥機の導入により、燃油使用量の削減と労働時間の抑制が図られた。	適期刈取など計画的な作業に務めた結果、燃油使用量の削減と労働時間の削減が図られた。		
新庄市	吉沢地区稲作研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該機械の利用に係る燃油の使用量を25%以上削減	0.768ℓ/10a	稼働なし	0.728ℓ/10a	0.725ℓ/10a	0.576ℓ/10a	22.4%	当該機械の利用に係る燃油の使用量を5.6%削減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該省エネ機械を導入することによる労働時間の増加割合を10%以下に抑制	2.4h/10a	稼働なし	2.2h/10a	2h/10a	2.15h/10a	130.6%	当該省エネ機械を導入することにより、労働時間を16.7%低減	3,150,000	1,050,000			2,100,000	H21.3.24	ほ場がぬかるんでいて必要以上にアクセルを踏まなければならなかったことや運転者が自ら苗補給を行ったために田植機の停止時間が長くなったこと等から、燃油の使用量を目標まで削減できなかった。今後は、苗補給を効率的に行うこと、田植前のほ場作業(適切な耕起深の確保、農業機械でのターン時に枕地が深くないよう留意等)や研修会の開催による燃料削減ハンドリング技術を徹底する。	労働時間は減少しているが、燃油使用量の低減が小さいため、無駄なアクセル踏み込みを止め、効率的な作業に努める必要がある。		

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、動力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)					達成率	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)				目標値 (平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
真室川町	釜淵富農組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	遠赤外線乾燥機等の利用に係る燃油の使用量を24%削減	30.10/t	稼働なし	27.50/t	27.40/t	22.60/t	36.0%	当該機械等の利用に係る燃油の使用量を9%低減	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	遠赤外線乾燥機等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10.9h/10a	稼働なし	2.2h/10a	2.6h/10a	7.1h/10a	192.0%	当該機械等の利用に係る労働時間を76.1%低減	・遠赤外線乾燥機(大豆処理能力50石、3.1kw最大張込量5,000kg×1台)	1,990,800	995,000	0	0	995,800	H21.3.31	労働時間は目標数値を達成したが、燃油使用量については、適期刈取に努めたが、収穫時の降雨(刈取開始から終期19日のうち降雨日13日)により高水分大豆(22.9~24.5%)が多くなり低減目標は未達成となつてしまった。適正な子実水分で刈り取るよう努めながら、今後も省エネマニュアルに基づき、品質の向上及び生産コストの削減に努める。	労働時間は低減されたものの、収穫期の降雨により、大豆の水分が高くなり、燃油使用量の削減は達成されなかった。適期刈取(大豆水分の確認)や計画的な作業に努め、さらに燃油使用量の削減に努める必要がある。	
金山町	檜台農業生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)23.80	稼働なし	19.80	17.90	1t当りの燃油使用量(ℓ)180	101.7%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24.8%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.5h	稼働なし	1.2h	1.0h	10a当りの労働時間1.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を33.3%削減	・遠赤外線乾燥機(シズオカSAC-E65)最大粗張込量6500kg1台	2,268,000	1,134,000			1,134,000	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が101.7%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、利用面積の拡大や担い手の集約を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	谷口農業生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を33%以上低減	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.30	稼働なし	0.2570	0.1970	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.20	103.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を34.3%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間2.2h	稼働なし	2.0h	2.0h	10a当りの労働時間2.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を9.1%削減	・乗用8条植高連田植機(クボタNSD8-1R-HSYF)1台	3,349,500	1,116,000			2,233,500	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が103%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、利用面積の拡大と効率的作業を進めた結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	西部稲作生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を33%以上低減	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.30	稼働なし	0.2540	0.1980	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.20	102.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を34.0%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間2.2h	稼働なし	2.0h	2.0h	10a当りの労働時間2.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を9.1%削減	・乗用8条植高連田植機(クボタNSD8-1R-HSYF)1台	3,349,500	1,116,000			2,233,500	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が102%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や農地の集積を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	大越ファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)23.80	稼働なし	19.60	17.40	1t当りの燃油使用量(ℓ)180	110.3%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を26.9%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.5h	稼働なし	1.2h	0.9h	10a当りの労働時間0.9h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を40%削減	・遠赤外線乾燥機(金子RFM-700)最大粗張込量7000kg1台	2,625,000	1,312,000			1,313,000	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が110.3%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	金山クリーン農業生産研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)28.60	稼働なし	23.90	21.10	1t当りの燃油使用量(ℓ)21.60	107.1%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を26.2%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.52h	稼働なし	1.3h	1.1h	10a当りの労働時間1.1h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を27.6%削減	・遠赤外線乾燥機(山本HD-50AP2)最大粗張込量5000kg1台	2,000,250	1,000,000			1,000,250	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が107.1%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	金山農業三枝研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)44.70	稼働なし	37.40	33.60	1t当りの燃油使用量(ℓ)33.90	102.8%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24.8%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.58h	稼働なし	1.3h	1.1h	10a当りの労働時間1.1h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を30.4%削減	・遠赤外線乾燥機(シズオカSAC-E55)最大粗張込量5500kg1台	2,094,750	1,047,000			1,047,750	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が102.8%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	上台農業生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)35.80	稼働なし	29.40	27.00	1t当りの燃油使用量(ℓ)27.20	102.3%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24.6%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.56h	稼働なし	1.2h	1.0h	10a当りの労働時間1.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を35.9%削減	・遠赤外線乾燥機(シズオカSAC-E65)最大粗張込量6500kg1台	2,241,750	1,120,000			1,121,750	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が102.3%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	小瀬水田生産研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当りの燃油使用量(ℓ)35.80	稼働なし	29.50	26.70	1t当りの燃油使用量(ℓ)27.20	105.8%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を25.4%低減	土地利用型作物(水稲・大豆)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間1.56h	稼働なし	1.3h	1.0h	10a当りの労働時間1.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を35.9%削減	・遠赤外線乾燥機(金子RVH605XLD5)最大粗張込量6000kg1台	2,457,000	1,228,000			1,229,000	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が105.8%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
金山町	金山町環境農業研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を33%以上低減	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.30	稼働なし	0.2560	0.1990	10a当りの燃油使用量(ℓ)0.20	101.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を33.7%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間2.2h	稼働なし	2.0h	2.0h	10a当りの労働時間2.0h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を9.1%削減	・乗用8条植高連田植機(ヤンマーVPS0DPWWGU-ZRF)1台	3,419,850	1,139,000			2,280,850	H21.3.31	成果目標の具体的な実績が101%達成されたことで、コスト面等である程度の事業効果があった。	目標達成のため、省エネ利用マニュアルを活用するとともに、担い手の集約を進めながら、新規会員の参画や利用面積の拡大を図った結果、燃油使用削減や労働時間削減目標が達成された。	
南陽市	柳沢乾燥機利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用により燃油の使用量を22%低減	250/t	-	16.60/t	11.90/t	19.50/t	238.2%	当該農業機械等の利用により燃油の使用量を52.4%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用により労働時間増加割合を10%以下に抑制	1.45h		0.98h/10a	0.9h/10a	0.92h	103.0%	当該農業機械等の利用により労働時間を37.9%削減	・穀物遠赤外線乾燥機NCD50-AD ・大型タテ搬送機YSKW-12T	2,559,900	1,279,000			1,280,900	H21.3.26	燃料の使用量・労働時間増加割合ともに削減できており、当初目標を達成している。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。	
南陽市	漆山西部地区乾燥機利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用により燃油の使用量を22%低減	24.70/t	-	11.60/t	11.90/t	19.20/t	232.7%	当該農業機械等の利用により燃油の使用量を51.8%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用により労働時間増加割合を10%以下に抑制	1.5h		0.91h/10a	0.89h/10a	1h	116.9%	当該農業機械等の利用により労働時間を40.7%削減	・穀物遠赤外線乾燥機NCD50-AD	2,362,500	1,181,000			1,181,500	H21.3.31	燃料の使用量・労働時間増加割合ともに削減できており、当初目標を達成している。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。	
高島町	大町機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	燃費効率の向上したディーゼルエンジン田植機の導入による燃油使用量の27%低減	1.850/10a		1.020/10a	1.320/10a	1.340/10a	103.9%	10aあたりの燃油使用量を28.6%削減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当たりの労働時間2.8h		10a当たりの労働時間2.0h	10a当たりの労働時間2.3h	10a当たりの労働時間2.6h	162.5%	10a当たりの労働時間を17.9%削減	・ディーゼル田植機8条1台	2,625,000	875,000			1,750,000	H21.3.24	作業に際して、厳密に給油を実施・計測しており、このことで組合員に燃油低減の意識が浸透した。また、作業期前に機械操作研修会を実施したことも燃油低減達成に役立っている。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。	
川西町	中小松シーダーズ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:水稲直播機)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を12%以上低減	3.080/10a		0.8620/10a	0.980/10a	2.690/10a	538.5%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を68.2%削減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:水稲直播機)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	0.25h/10a		0.268h/10a	0.16h/10a	0.17h/10a	109.5%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を36%削減	・高速直播機1台	3,591,000	1,795,000	0	0	1,796,000	H21.3.22	【燃料】6条植えから8条植えの直播機にしたことで、面積あたりにかかる燃料費の削減に繋がった。 【労働時間】6条植えから8条植えの直播機にしたことで、面積あたりにかかる田植え作業時間の削減に繋がった。	燃料については成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。労働時間については、作業工程を更に見直し短縮に努める必要がある。	



市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)					達成率	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)				目標値 (平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
川西町	Y T S 乾燥組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20%以上低減	23.390/t	-	20.740/t	23.230/t	18.710/t	3.4%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を0.7%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以上抑制	1.0h/10a	-	1.0h/10a	0.96h/10a	0.75h/10a	40.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を4%削減	・遠赤外線乾燥機(50石)1台	1,953,000	976,000	0	0	977,000	H21.3.13	夏場の異常気象により品質の低下を防ぐため、早期(9月15日から9月30日(例年の刈り取りは9月20日から10月10日頃))刈り取りを実施した。そのため、水分が25.4%~31%(通常は23%~25%)と非常に高い水分の稲を乾燥することとなり乾燥時間(H22は一回の乾燥時間28.3時間(例年は21時間))が大幅にかかり燃料の使用量労働時間共に目標達成出来なかった。	省エネ化について計画的な収穫と乾燥調製作業の効率化を図り改善が必要である。労働時間についても、作業工程を更に見直し短縮に努める必要がある。		
小国町	田沢頭木酢研究会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を22%以上低減	1t当たりの燃油使用量 15.32t		1t当たりの燃油使用量 11.50t	1t当たりの燃油使用量 11.19t	1t当たりの燃油使用量 11.93t	121.8%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を27%低減										・穀物遠赤外線乾燥機(SAC-E55)汎用型55石1台	1,858,500	929,000			929,500	H21.3.18	適期刈り取りの推進と施設の点検清掃、省エネマニュアルを实践した結果、燃油使用量を27%低減することができ、コストもダウンし経営の効率化が図られた。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。			
白鷹町	農事組合法人サンプファームしらたか	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を20%低減	1t当たりの燃油使用量 18.33t		1t当たりの燃油使用量 18.29t	1t当たりの燃油使用量 14.59t	1t当たりの燃油使用量 14.65t	101.6%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を20.4%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間 1.4h	10a当りの労働時間 1.4h	10a当りの労働時間 1.4h	10a当りの労働時間 1.35h	10a当りの労働時間 1.38h	118.8%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を3.6%低減	・遠赤外線乾燥機2台	3,339,000	1,590,000			1,749,000	H21.3.25	省エネに対する意識が向上し、作業効率化等の取り組みを行なった結果、今年度で目標達成することができ評価できる。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。		
白鷹町	白鷹町種子生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲(種子))	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等利用に係る燃油の使用量を24%低減	1t当り燃料消費量 18.75t	1t当り燃料消費量 18.75t	1t当り燃料消費量 18.76t	1t当り燃料消費量 14.10t	1t当り燃料消費量 14.14t	100.9%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24.8%削減	土地利用型作物(水稲(種子))	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:穀物乾燥調製施設)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間 0.243h	-	10a当りの労働時間 0.243h	10a当りの労働時間 0.240h	10a当りの労働時間 0.242h	107.9%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を1.2%低減	・遠赤外線乾燥機1台	2,499,000	1,190,000	0	0	1,309,000	H21.3.25	省エネに対する意識が向上し、作業効率化等の取り組みを行なった結果、目標達成することができた。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。		
白鷹町	農事組合法人アグリサービスこぐわ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:田植機)】当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を41%低減	10a当りの燃油使用量 1.302t		10a当りの燃油使用量 0.81t	10a当りの燃油使用量 0.745t	10a当りの燃油使用量 0.76t	102.8%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を42.8%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:田植機)】当該農業機械等の利用に係る労働時間の増加割合を10%以下に抑制	10a当りの労働時間 2.2h	-	10a当りの労働時間 2.2h	10a当りの労働時間 2.1h	10a当りの労働時間 2.1h	100.0%	当該農業機械等の利用に係る労働時間を4.5%低減	・高速田植機(8条)1台	3,188,850	1,012,000	0	0	2,176,850	H21.3.25	省エネに対する意識が向上し、作業効率化等の取り組みを行なった結果、目標達成することができた。	成果目標を達成しており、生産性の向上に寄与していると認められる。		
鶴岡市	農事組合法人みます元氣村	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る燃油消費量を32%低減	0.740/10a	-	0.510/10a	0.50/10a	0.50/10a	100.0%	当該農業機械等利用に係る燃油消費量を32.4%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る労働時間を9%低減	2.2h/10a	-	2.0h/10a	2.0h/10a	2.0h/10a	2.0h/10a	100.0%	当該農業機械等利用に係る労働時間を9.1%低減	・共同利用機械整備(高速田植機(8条)1台)	2,751,000	917,000	0	0	1,834,000	H21.3.19	本事業を実施したことにより、燃油使用並びに作業効率に対する意識改革ははかられた。	燃油使用料、労働時間共に目標が達成されており、適正に事業が実施されていると判断される。	
鶴岡市	谷地興屋宮農組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る燃油消費量を28%低減	1.030/10a	1.030/10a	0.600/10a	0.500/10a	0.740/10a	182.8%	当該農業機械等利用に係る燃油消費量を51.5%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る労働時間を9%低減	2.2h/10a	2.2h/10a	2.0h/10a	2.0h/10a	2.0h/10a	2.0h/10a	100.0%	当該農業機械等利用に係る労働時間を9.1%低減	・共同利用機械整備(高速田植機(8条)1台)	3,486,000	1,162,000	0	0	2,324,000	H21.3.19	作業に伴う燃油使用量の低減などによりコストが削減されるとともに、作業効率の向上により省力化が図られ、高齢化が進む集落環境において、営農組合による今後の作業受託の拡大が可能になった。	燃油使用量、労働時間共に目標を達成しており、適正に事業が実施されていると判断される。特に燃油使用料においては、低減の徹底が図られ、目標を大幅に上回る結果となっている。	
鶴岡市	楠引直播栽培組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る燃油使用量を23%低減	0.890/10a	-	0.510/10a	0.520/10a	0.680/10a	176.2%	当該農業機械等利用に係る燃油使用量を41.6%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る労働時間を32%低減	0.25h/10a	-	0.35h/10a	0.27h/10a	0.17h/10a		4.8%	当該農業機械等利用に係る労働時間が8%増加	・共同利用機械整備(水稲直播機)1台	2,845,500	1,355,000	0	0	1,490,500	H21.3.24	燃油使用量については低減目標に到達してはいるものの、労働時間については昨年度よりは改善されたものの、削減できなかった。その原因としては保守点検や、使用前・使用後のメンテナンスを生産農家個々が重点的に実施し、燃油消費軽減と機械装置の故障を回避するための順次点検を行ったことが考えられる。今後は農業機械の省エネマニュアルの遂行を再度徹底しながら、保守点検時間を短縮し、労働時間の削減に努めていく。	燃油使用量については低減目標を大きく上回っており評価できる。労働時間については、昨年度から大きく改善が図られたが、目標の達成には至っていない。理由として、保守点検に時間を費やしたこととされているが、保守点検のマニュアル化や操作技術の向上により、労働時間の削減の徹底を図る必要がある。	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名) ①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名) ②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、動力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)					達成率	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)				目標値 (平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
鶴岡市	夢・創・米・館 ライスフィールド 乾燥調整 施設利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る燃油使用量を25%低減	19.70t/t	-	23.28t/t	25.65t/t	14.77t/t	-120.7%	当該農業機械等利用に係る燃油使用量が30.2%増加した	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等利用に係る労働時間を36.6%低減	1.45h/10a	-	1.17h/10a	1.03h/10a	0.92h/10a	83.7%	当該農業機械等利用に係る労働時間を29%低減	・耕種作物共同利用施設整備(乾燥調整施設遠赤外線乾燥機)8台	24,675,000	11,750,000	0	0	12,925,000	H21.3.24	燃油使用量については、H22年産は夏季の異常高温による一等米比率(H20:96.3%→H22:91.4%)が低下した。搬入時水分の過多(H20:25%→H21:30%)や整粒比率の低下で乾燥班を引き起こしたため、乾燥時間の延長が燃油使用量の増につながったことやH21年産以上の不作(収量減少:H20:588kg/10a→H22:516kg/10a)となり、個別品種別独立乾燥が主体の施設として、投入量(充填率)の低下が乾燥ロスとして出てしまったことが原因と考えられる。今後、乾燥機操作面での設定技術の向上と共に、搬入時水分を低くするために適正な刈取期の設定や乾燥機1回あたりの投入量(充填率)を上げ、乾燥ロスをさせない取り組みをしていく。また、労働時間については、品種毎の米の特徴を把握しながら乾燥機の水分設定技術が向上したため、再乾燥作業回数を削減できたことで昨年より低減したものの、今後更なる乾燥機操作設定技術を向上させ、労働時間を低減していく。	燃油使用量の増加については、搬入時の水分量が高かったことや収量減少による乾燥ロス等の要因が大きく影響していると考えられる。目標の達成にあたり、農業機械の省エネマニュアル及びチェックシートの活用はもとより、効率的な乾燥が行えるようにメーカーからの燃油量低減について教習するなど、乾燥方法について検討・工夫を行いながら、節減の徹底を図っていく必要がある。	
真室川町	ひまわり農場	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	「土地利用型作物(大豆)」単収を14%増加	70.0kg/10a	-	80.2kg/10a	45.1kg/10a	80.0kg/10a	-249.0%	単収35.6%減少	土地利用型作物(大豆)	生産性向上	「土地利用型作物(大豆)」10a当たり労働時間を14%削減	10.0h/10a	-	7.4h/10a	7.3h/10a	8.6h/10a	192.9%	労働時間が27%削減	・色彩選別機 CLX-502DMZ(計量器・エアコンプレッサ付き)1台	3,800,000	1,900,000	0	0	1,900,000	H21.3.31	平成21年産から「耕種同時畝立て播種」の新技術を導入した結果、平成21年産の10a当たり収量は80.2kg/10a当たりの労働時間は7.4時間といずれも目標を達成した。平成22年産では「畦間除草剤散布技術」も導入した結果、労働時間は目標を達成したが、収量は登熟期間の高温による小粒化や収穫期の降雨の影響により、目標を達成できなかった。今後は、成果目標の達成に向け、新技術の導入を継続すると共に、JA、町、県の指導の下、排水対策や適期雑草防除など一層の基本技術の徹底により、単収の向上を図る。	「耕種同時畝立て播種」及び「畦間除草剤散布技術」の導入により、単収向上と労働時間の低減が図られた。しかし、本年は異常気象等により収量が大きく低下し、単収向上の目標に至らなかった。なお、町全体の平均収量も44kg/10aと前年の81kg/10aから大幅に減少した。今後、大豆300A技術などを積極的に導入した排水対策の徹底や適期雑草防除など、基本技術の徹底により、単収向上が図られるよう指導していく。	
河北町	アグリコン ラクター溝延 西部営農組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆・そば・麦)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24%以上の低減	36.1t/t	36.1t/t	32.4t/t	27.2t/t	27.4t/t	102.3%	当該農業機械等の利用に係る燃油の使用量を24.7%低減											2,235,450	1,064,000			1,171,450	H21.3.31	穀物遠赤外線乾燥機の導入により燃油の削減が図られた	目標以上に燃油使用量が低減されており、事業実施効果があったと認められる。		
大蔵村	白須賀CE7	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	【原油高騰対策(農業用機械等:田植機)】当該農業用機械等の利用に係る燃油の使用量を63%低減	1.22t/10a(平成20年度)	稼働なし	0.85t/10a(平成21年度)	0.63t/10a(平成22年度)	0.44t/10a(平成22年度)	75.6%	当該農業用機械等の利用に係る燃油の使用量が48.4%低減											3,400,000	1,133,000			2,267,000	H21.3.30	生産コストの低減、共同化による作業効率の向上、燃油の使用量が低減されたものの、稼働面積の拡大が図られず、機械の性能を最大限に生かせなかった。今後、稼働面積の拡大に努めるとともに、圃場と作業体系を再度確認する。	燃油使用量の削減が図られてきているが、利用面積が大きく減少したこと等から導入機械の性能を十分に発揮できず、目標を達成できていない。今後、利用面積の拡大を図るとともに更に作業効率を高めしていく必要がある。		
鶴岡市	水田高性能機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る燃油使用量を31%低減	0.59t/10a	-	0.74t/10a	0.59t/10a	0.40t/10a	0.0%	当該農業機械等の利用に係る燃油使用量が0%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械等の利用に係る労働時間を28%低減	0.25h/10a	-	0.21h/10a	0.25h/10a	0.18h/10a	26.3%	当該農業機械等の利用に係る労働時間が0%低減	・共同利用機械整備(田植機8条)2台	6,749,400	2,142,000	0	0	4,607,400	H21.3.31	燃油使用量・労働時間の低減について、特別栽培米の作付面積拡大による秋耕での除草体系処理田の増加や4月の長雨の影響により深水田となったため、作業効率や燃費効率が悪くなったことや田植え時の悪天候で作業の中断や遅れが出たため目標値に到達できなかったことが要因である。今後は深水田にならないよう圃場環境整備(明渠の徹底等)に努めると共に、農業機械の省エネマニュアル厳守を使用講習会等で徹底し、燃油使用量・労働時間の低減を図っていく。	燃油使用量、作業時間ともに目標の達成に至っていない。天候不良による要因が大きいと判断されるが、適切なほ場管理や農業機械の省エネマニュアル及びチェックシートの活用により、低減の徹底を図っていく必要がある。	

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名) ①	政策目標 ①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名) ②	政策目標 ②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、威力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)					達成率	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)				目標値 (平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費
鶴岡市	宝谷そば生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(そば)	生産性向上	10a当り労働時間を26%低減	0.75h/10a	-	0.67h/10a	0.60h/10a	0.55h/10a	75.0%	10a当りの労働時間を20%低減	畑作物・地域特産物(そば)	生産性向上	単収を20%増加	46.4kg/10a	-	47.0kg/10a	32.9kg/10a	56.0kg/10a	-140.6%	当該農業機械等の利用に係る単収が29.1%減少	・共同利用機械整備(汎用コンバイン)1台	5,397,000	1,713,000	0	0	3,684,000	H21.3.24	労働時間の削減については目標値には至らなかったものの、受益面積・圃場範囲が拡大したが、作業の効率化が図られ、昨年度より削減することができた。今後は収穫圃場の順番の工夫や団地化を進め、更なる労働時間の削減に努めたい。また、単収の増加については、記録的な猛暑(開花期間の平均気温が平年比2.3℃高)と播種期に土壌乾燥が続き水分不足から出芽が遅れた圃場がみられ、生育量は十分確保されず、結果的に高温障害と結実不良から収量が減少した。土壌乾燥や高温年次の栽培経験も少なく、技術対応に不備があったものと思われる。今後は、安定出芽に向けて、砕土率の高い丁寧な耕起と播種作業に努めるとともに、安定生産に向けた適期適量播種を推進する。また、そば産地として販路拡充と所得向上のため地域特産物の生産に取り組んでいく。	労働時間の削減については昨年度より改善が図られているが目標の達成に至っていない。作業の効率化による更なる削減を図り目標の達成に向け取り組む必要がある。また、単収の増加においても目標の達成に至っておらず、要因としては、異常気象の影響が大きいと判断されるが、栽培管理の徹底と栽培技術の向上を図り、目標達成に向け取り組んでいく必要がある。
三川町	三本木グリーンファーム	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械利用に係る燃油使用量20%低減	13.80/t	-	11.00/t	9.950/t	11.040/t	139.5%	当該農業機械利用に係る燃油使用量が27.9%低減	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業機械利用に係る労働時間を10%低減	1.57h/10a	-	1.49h/10a	1.383h/10a	1.41h/10a	108.5%	当該農業機械利用に係る労働時間が11.9%低減	・耕種作物共同利用施設整備(遠赤外線乾燥機)(5.5t仕様)4台	8,694,000	4,140,000	0	0	4,554,000	H21.3.30	燃油使用量低減は、生籾の水分低減の工夫等で目標を達成できた。労働時間削減も、新規農業者への指導等から作業効率が高まり目標を達成できた。	燃油使用量、労働時間ともに低減目標を達成しており、事業効果が十分図られている。
鶴岡市	小名部収穫機械施設利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業用機械等の利用に係る燃油の使用量を24%低減	23.40/t	-	32.30/t	28.70/t	17.70/t	-93.0%	当該農業用機械等の利用に係る燃油使用量が22.6%増加した。	土地利用型作物(水稲)	生産性向上	当該農業用機械等の利用に係る労働時間を9%削減	0.91h/10a	-	0.84h/10a	0.82h/10a	0.82h/10a	100.0%	当該農業用機械等の利用に係る労働時間を9.9%低減	・遠赤外線乾燥機(5t仕様)4基	8,893,500	4,446,000	0	0	4,447,500	H21.3.25	当該地域は、標高80～90mの山間地に位置する谷川沿いの水田地帯である。このため、刈取時期のバラつきがあり効率的な収穫乾燥作業が実施できない状況にある。また、登熟に差が生じており、収量の低下に伴い単位当たりの燃油使用量が増加する傾向にある。特に平成22年度においては、低収(H20:480kg/10a→H22:444kg/10a)であったことから、燃油使用量に係る目標の達成に至らなかった。今後は、水稲栽培技術の向上のための研修はもちろぬ、品種ごとの刈取適期に加え、刈取り作業のローテーションについて引き続き見直しを行うとともにメーカーからの燃油量低減についての教授等、効率的な乾燥手段を検討・工夫し燃油使用量の低減に向かう。	労働時間の削減については、目標を達成しており評価できる。しかし、燃油使用量については、目標の達成に至っていない状況にある。目標の達成にあたり、農業機械の省エネマニュアル及びチェックシートの活用はもとより、地形的要因も含め、効率的な乾燥が行えるように通風乾燥循環や二段乾燥なども検討し、乾燥方法について工夫を行いながら、燃油使用量の削減の徹底を図っていく必要がある。
新庄市	昭和草地利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(牧草、乳用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を60.4%増加	18.7ha	30.0ha	30.0ha	36.8ha	30.0ha	160.2%	飼料収穫・収集面積が18.1ha増加	飼料作物(牧草、乳用牛)	生産性向上	飼料自給率を35.6%増加	35.7%	48.4%	48.4%	49.5%	48.4%	108.7%	飼料自給率が38.7%増加	・ロールベアラー(ベール径91cm～150cm×幅120cm)1台 ・梱包格納用機械(径120～160cm×幅120cm)1台	7,875,000	2,625,000	0	0	5,250,000	H20.8.28	事業実施により、作業効率が飛躍的に改善され、飼料作物面積増加につながった。	飼料収穫・収集面積が目標を達成していることから、適正に事業が実施されていると判断できる。
真室川町	真室川町酪農振興会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(デントコーン、乳用牛、繁殖牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を140.5%増加	7.9ha	11.2ha	14.2ha	19.2ha	19.0ha	101.8%	飼料収穫・収集面積が11.3ha増加	飼料作物(デントコーン、乳用牛、繁殖牛)	生産性向上	飼料自給率を41.1%増加	36.2%	41.5%	44.9%	58.6%	51.1%	150.3%	飼料自給率が61.9%増加	・細断型ロールベアラー(タカキタMW1210ベール径115cm×110cm)1台	10,563,000	5,281,000	0	0	5,282,000	H20.9.1	事業実施により、作業効率が飛躍的に改善され、飼料作物面積増加につながった。	飼料収穫・収集面積が目標を達成していることから、適正に事業が実施されていると判断できる。
川西町	時田粗飼料生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲わら、繁殖牛、肥育牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を5.8ha増加	2,640a	2,950a	2,800a	3,620a	3,220a	169.0%	飼料収穫・収集面積が9.8ha増加	飼料作物(稲わら、繁殖牛、肥育牛)	生産性向上	飼料自給率を17.1%増加	59.6%	69.8%	63.8%	68.6%	69.8%	88.2%	飼料自給率が15.1%増加	・ロールベアラー(ベール径120cm×120cm)1台 ・梱包格納用機械(対応ベール径90cm～120cm×85cm～120cm)1台	11,182,500	3,727,000	0	0	7,455,500	H20.10.15	天候不順により、当初は計画通り稲わら収集が行えなかった。H22年度に作業体系を見直すとともに、その他の飼料作物を代替として収集し、目標を達成することが出来た。	飼料自給率については、計画時の目標164頭に対して78.4%相当であるが、30頭程度の規模拡大を図ったため、目標値に若干達していない状況。飼料収穫面積の増加を通じて、自給飼料基盤の強化は十分図られていると判断出来る。
川西町	西大塚粗飼料生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(牧草、稲WCS、稲わら、繁殖牛、肥育牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を10.0ha増加	1,790a	2,784a	2,703a	3,136a	2,790a	134.6%	飼料収穫・収集面積が13.5ha増加	飼料作物(牧草、稲WCS、稲わら、繁殖牛、肥育牛)	生産性向上	飼料自給率を39.3%増加	62.6%	85.6%	79.5%	103.8%	87.2%	167.5%	飼料自給率が65.8%増加	・家畜ふん尿土壌還元用機械(自走式、積載量2,500kg)1台	4,200,000	2,100,000	0	0	2,100,000	H20.10.15	導入機械の有効活用により、飼料収穫面積が増加し、もって飼料自給率の向上が図られた。	目標どおり稲わら等の収穫面積が増加し、飼料自給率も向上していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。
川西町	川西東部WCS生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲WCS、繁殖牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を6.4ha増加	710a	1,360a	1,288a	1,564a	1,350a	133.4%	飼料収穫・収集面積が8.5ha増加	飼料作物(稲WCS、繁殖牛)	生産性向上	飼料自給率を12.3%増加	87.1%	108.3%	110.3%	133.1%	97.8%	429.9%	飼料自給率が52.8%増加	・稲発酵粗飼料用ロールベアラー(ベール径90cm×86cm)1台 ・梱包格納用機械(90cm～100cm×85cm～100cm)1台	10,447,500	4,821,000	0	0	5,626,500	H20.10.15	導入機械の有効活用により、飼料収穫面積が増加し、もって飼料自給率の向上が図られた。	目標どおり飼料用イネの収穫面積が増加し、飼料自給率も向上していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。
小国町	小国町堆肥散布機械利用管理組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲WCS・稲わら、肥育牛、繁殖牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を8.0ha増加	13.1ha	16.8ha	17.1ha	21.4ha	21.1ha	103.8%	飼料収穫・収集面積が8.3ha増加	飼料作物(稲WCS・稲わら、肥育牛、繁殖牛)	生産性向上	飼料自給率を16.4%増加	72.1%	81.4%	90.7%	106.5%	83.9%	291.5%	飼料自給率が47.7%増加	・家畜ふん尿土壌還元用機械(自走式、積載量3,500kg)1台	6,300,000	3,150,000	0	0	3,150,000	H20.11.20	導入機械の有効活用により、飼料収穫面積が増加し、もって飼料自給率の向上が図られた。	目標どおり飼料稲の収穫面積が増加し、飼料自給率も向上していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。



市町村名	事業実施主体名	政策的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、産力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
							計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)					達成率	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)				目標値 (平成22年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他
白鷹町	白鷹畜産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(藁、乳用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を639.1%増加	4.1ha	27.4ha	27.4ha	30.0ha	26.5ha	115.6%	飼料収集面積が25.9ha増加	飼料作物(藁、乳用牛)	生産性向上	飼料自給率を123.6%増加	7.2%	16.2%	16.2%	16.2%	16.1%	101.1%	飼料自給率が125.0%増加	・ロールベラー(ペール径120cm×120cm)1台 ・梱包格納機械(対応ペール120cm×100cm)1台 ・積込機(対応ペール120cm×100cm)1台	11,277,000	3,759,000			7,518,000	H20.9.17	導入機械の有効活用により、稲わら収集面積の向上を通じて、飼料自給率の増加を達成した。	目標どおり稲わら収集面積及び飼料自給率が増加していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。	
白鷹町	白鷹飼料生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(デントコーン、乳用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を308.2%増加	4.85ha	4.9ha	16.5ha	20.0ha	19.8ha	101.3%	飼料収穫・収集面積が15.2ha増加	飼料作物(デントコーン、乳用牛)	生産性向上	飼料自給率を311.1%増加	3.6%	3.6%	13.2%	14.9%	14.8%	100.9%	飼料自給率が313.9%増加	・細断型ロールベラー(ペール径80cm×100cm)1台	8,295,000	4,147,000			4,148,000	H20.9.4	ロールからラップまで一貫した体系となり、作業効率の向上を通じて飼料自給率の増加を図ることが出来た。	目標どおりデントコーン収集面積及び飼料自給率が増加していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。	
飯豊町	農事組合法人田園開発豊	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲WCS、肉用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を15.2ha増加	0.0ha	18.3ha	17.2ha	14.3ha	15.2ha	94.1%	飼料収穫・収集面積が14.3ha増加	飼料作物(稲WCS、肉用牛)	生産性向上	単収の地域平均値より53.8%増加	1.3t/10a	2.0t/10a	2.0t/10a	2.0t/10a	2.0t/10a	100.0%	単収が53.8%増加	・稲発酵粗飼料用ロールベラー(作業幅1,400mm)1台 ・梱包格納用機械(適応径85cm~100cm)1台 ・飼料運搬機(ロールハンド装着ホイールローダ)1台	15,361,500	6,598,000			8,763,500	H20.8.29	事業実施直後は計画を大きく上回る収穫面積を達成していたが、H22年度に試験的にSGSを導入したために、稲発酵粗飼料収集面積が低下した。H23年度以降は稲発酵粗飼料の収集面積を戻すことで、目標達成を図る。	試験的な取り組みを実施した結果、飼料収集面積が若干目標を下回ったものの、導入機械の有効活用から生産性の向上に寄与できたといえる。H23年度以降、稲発酵粗飼料の収集面積を戻すことから、目標の達成は十分に可能であると判断出来る。	
飯豊町	飯豊コントラ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲わら、乳用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を507%増加	7.9ha	48.0ha	42.3ha	49.6ha	48.0ha	104.0%	飼料収穫・収集面積が41.7ha増加	飼料作物(稲わら、乳用牛)	生産性向上	飼料自給率を11.6%増加	27.7%	30.9%	30.4%	31.1%	30.9%	106.3%	飼料自給率が12.3%増加	・ロールベラー(作業幅1,600mm)1台 ・梱包格納用機械(適応径90cm~120cm)1台 ・テッターレーキ(作業幅335cm)1台	11,476,500	3,825,000			7,651,500	H20.8.11	H22年度において、天候により収穫困難な圃場が発生したが、作業可能な圃場での収集を行う等、作業体系を見直すことで、目標を達成することが出来た。	目標どおり飼料作物の収集面積及び飼料自給率が増加していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。	
飯豊町	谷地機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲わら、牧草、肉用牛)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を33.9%増加	17.7ha	20.1ha	23.4ha	26.4ha	23.7ha	145.0%	飼料収穫・収集面積が8.7ha増加	飼料作物(稲わら、牧草、肉用牛)	生産性向上	飼料自給率を44%増加	9.1%	9.1%	11.3%	13.3%	13.1%	105.0%	飼料自給率が46.2%増加	・家畜ふん尿土壌還元用機械(自走式、積載量2,500kg)1台	4,410,000	2,100,000			2,310,000	H21.3.4	耕種農家への働きかけにより、収集面積の拡大に成功した。導入機械の有効活用により、稲わら収集面積の向上を通じた、飼料自給率の増加を達成した。	目標どおり飼料作物の収集面積及び飼料自給率が増加していることから、適正に事業を実施していると判断出来る。	
鶴岡市	土を考える会飼料作物部会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料作物(稲わら、乳用牛、繁殖牛、肥育和牛、肥育ホル)	生産性向上	飼料収穫・収集面積を111.0%増加	16.3ha	18.4ha	27.5ha	31.6ha	34.4ha	84.5%	飼料収穫・収集面積が15.3ha増加	飼料作物(稲わら、乳用牛、繁殖牛、肥育和牛、肥育ホル)	生産性向上	飼料自給率を54.9%増加	10.2%	11.9%	12.8%	16.4%	15.8%	110.7%	飼料自給率が60.8%増加	・稲わら収集機4台	4,026,330	1,342,000			2,684,330	H20.8.20	ほ場の分散や天候不順等により乾燥調整作業に手間取り、飼料収集面積が当初計画より下回った。今後は、排水の良いほ場の選定、ほ場の集約化、並びに稲わらサイレージの利用拡大により、確実な飼料収集を行っていく。	飼料収集面積の拡大が図られたが、目標に届かなかった。限られた期間に飼料収集する必要がある。効率的に作業を進められるほ場の選定や稲わらのサイレージ収穫の実施により、目標達成が見込まれる。	

都道府県平均達成率	110.4%	総合所見	<p>52事業中15事業が目標達成に至っていない。</p> <p>特に、土地利用型作物については、原油高騰対策に係る取組みにおいては、燃油使用量の削減は図られているものの、利用面積の大幅な縮小により導入機械の性能を十分発揮できず、結果、目標が達成できていない地区があることから、今後、利用面積の拡大を図るなどして作業効率を高めていくよう指導する必要がある。</p> <p>また、農業機械等利用に係る燃油使用量の低減に係る取組みにおいては、計画時より燃油使用量が増加し、取組みが著しく不十分な地区もあるため、省エネマニュアルの活用を徹底を図りながら、計画的な収穫作業や導入機械の効率的な使用について、関係機関と連携しながら指導を行っていく必要がある。</p> <p>一方、飼料作物については、飼料自給率については、計画時の目標に達していない状況が見受けられるが、今後の飼料収穫面積の増加を通じて、自給飼料基盤の強化を図る必要がある。</p> <p>また、飼料収集面積の拡大は図られたが目標に至らなかったものも見受けられ、今後、効率的に作業を進めながらほ場の選定や稲わらのサイレージ収穫を実施していく必要がある。</p> <p>今後も引き続き、事業実施主体に対する関係機関との連携による指導・支援を継続し、改善に向けた取組を徹底し、早期の目標達成を図るものである。</p>
-----------	--------	------	--